

川の環境守って！

子どもたちがアユの稚魚放流

河川の環境維持のために高山河川愛護会が長年続けているアユの稚魚放流が4月22日、二階堂家住宅そばの高山川で行われました。

この日のために用意されたアユは鹿児島県中部を流れる天降川（あもりがわ）から輸送した6千匹。愛護会員による会費とアユ採捕者の協力金、町の補助金で購入しました。

あいにくの雨にもかかわらず、放流には高山小学校3年生87名も参加し、バケツに小分けされた体長5、6センチの稚魚を川岸から放し、「元気に育ってね」と、のびのびと泳ぐアユに向かって声をかけました。

同小の神宮司梢さんは「かわいくて家に持って帰って育ててみたいと思いました」と話しました。



体長5、6センチほどのアユの稚魚



高山川へアユを放す児童

自生ツツジなど咲く 甫与志岳登山ツアー開催

町観光協会が主催する肝付の四季まるかじりツアー「第19弾 甫与志岳登山ツアー」が4月19日、開催されました。あいにくの曇り空でしたが、参加した21名は姫門地区の登山口を出発、帰りはルートを変更して二股川へ下山しました。参加者は道中に咲く自生ツツジなどを愛でながら、標高967メートルの甫与志岳登山を満喫しました。



山頂で記念撮影する登山メンバー

春のえっがね井祭り 7店舗がイセエビ井提供

4月12日から5月4日まで内之浦特産のイセエビを使った井料理を統一価格2700円で味わえる「春のえっがね井祭り」が開催され、7店舗で天井や海鮮井など工夫を凝らした井が提供されました。期間中は潮路ガーデンのエビネ展や鮮魚詰め合わせなどの賞品が当たるスタンプラリーも同時開催され、週末を中心に多くの観光客が訪れました。



えっがね井定食の一例